

ここが知りたい!

12歳～思春期のお口の中

小学生(高学年)・中学生の約2割は歯肉炎!

(H28 歯科疾患実態調査)

歯肉炎の原因は、みがき残した歯垢(プラーク)です。歯垢の中の細菌の毒素や酵素が、歯を支える組織を刺激すると、歯肉が炎症を起こしてしまいます。歯肉炎の段階なら、歯みがきをきちんと行うことで改善することができます。



妊娠期・乳幼児期・学齢期
シリーズ vol. 11

12さいきゅうし だいにだいきゅうし ほうしゅつ 12歳臼歯(第二大臼歯)の萌出

12歳頃になると、今まで一番奥に生えていた6歳臼歯(第一大臼歯)のさらに奥に12歳臼歯(第二大臼歯)が生えてきて、親知らずを除く永久歯が生えそろういます。



12歳臼歯

6歳臼歯

ししゅんきせいしにくえん 思春期性歯肉炎

小学校高学年から中学、高校生頃に見られ、ホルモンの変化に関係していると言われている歯肉炎です。清潔な状態でも発症してしまうことがあります。

健康な歯肉



- 歯肉の色 うすいピンク色
- 歯肉の形 歯間部にしっかりと入り込んで弾力性に富み、引き締まっている。
- その他 スティッピングと呼ばれるオレンジの皮に似た小さなくぼみがある。

ほうしゅつせいしにくえん 萌出性歯肉炎

乳歯からの生え変わりではなく、歯肉から徐々に出てくる12歳臼歯は、歯が歯肉に覆われる期間があるため、その場所に細菌がたまり、歯肉が炎症を起こし、痛みが生じる場合があります。これを「萌出性歯肉炎」と言います。



治療法は

正しいブラッシングをしましょう。歯石が付いていれば歯科医院でスクレーリング(歯石除去)を行います。出血や歯肉の腫れがひどいときは優しくみがきましょう。

初めは出血があるかもしれませんが、次第に健康な歯肉に変化します。



歯肉炎



歯と歯肉の境目に歯垢が付着し、歯垢中の細菌が出す毒素によって歯肉に炎症が起き、歯肉が赤く腫れてきます。

そのために歯周ポケットと呼ばれる溝ができ、歯垢がますますたまりやすくなります。

- 歯肉の色 赤みを帯びている。
- 歯肉の形 歯間部の歯肉は、先端部(歯間乳頭部)が丸みをもってふくらんでくる。
- その他 歯みがきなどの軽い刺激でも出血しやすい。